

2025 年 10 月 8 日
株式会社エンジョイワークス

「泊まれる蔵」The Bath & Bed Team プロジェクト 東武鉄道と地域で共創、川越の「蔵」を宿泊施設に — 運営事業者の募集説明会を 11 月 4 日、りそなコエドテラスで開催 —

株式会社エンジョイワークス（本社：鎌倉市、以下「エンジョイワークス」）は、東武鉄道株式会社（以下「東武鉄道」）と、埼玉県川越市と連携し、蔵を宿泊施設として再生する「泊まれる蔵」プロジェクトを 8 月に開始しました。エンジョイワークスは 2018 年から、葉山・小布施・佐久穂・立山・道後・鹿沼で未活用の「蔵」を活用した一棟貸し宿泊施設のプロジェクト「The Bath & Bed Team」を展開。川越での取り組みは、鉄道会社（東武鉄道）と自治体に加え、地域事業者・市民・投資家が協力して沿線の未来を共に育てる新しいモデルです。この挑戦に参画する運営事業者を募集するため、11 月に川越市内で説明会を開催します。



特徴あるお風呂（Bath）と大きなベッド（Bed）で構成、インテリアも各蔵の空間を活かしている

小江戸・川越の「蔵」が目指す新たな挑戦

川越市は「小江戸」と呼ばれ、年間およそ 700 万人もの観光客が訪れる人気の観光地として知られています。町並みには数多くの「蔵」が残っており、歴史的な景観が大きな魅力ですが、その一方で、利用頻度が低い蔵も数多くあると推察されており、維持管理や利活用について課題を感じている蔵所有者もいます。エンジョイワークスはこれまで全国各地

で、歴史的建物や空き家を舞台に地域の人々や外部の事業者とともに新たな価値を創出する共創型プロジェクトを手がけており、「蔵」の活用もそのひとつ。これまでの知見を活かし、東武鉄道・川越市と連携しながら、「蔵」という地域資源を観光だけでなく暮らしともつなぎ直す、「持続可能な宿泊インフラ」へと変えていきます。このプロジェクトは、観光のにぎわいを地域の日常に橋渡しする仕組みづくりとなるものです。

プロジェクトの特徴

- ・ 「泊まれる蔵」を運営する地域事業者が主役、鉄道会社や自治体は支援役となる地域主導型事業
- ・ エンジョイワークスの知見を活かした共創型まちづくりモデル
- ・ 不動産クラウドファンディングを活用、地域の人々や川越ファンの観光客、投資家も参画できる事業
- ・ 川越市内での拡大や、東武線沿線他地域への展開も視野



事業者が開かれた参画機会——宿泊需要の高い川越で

今回の募集は、川越の蔵を活用した宿泊事業に挑戦したい事業者や個人を対象としています。宿泊事業に関心のある起業志向のプレイヤーや、地域資源を活かした観光ビジネスを検討している方に広く開かれた機会です。東武鉄道の観光ネットワークをはじめ、エンジョイワークスの運営・資金調達支援、川越市の地域ネットワークといった多方面のサポートを受けながら、宿泊需要の高い観光都市・川越で事業を展開することができます。本プロジェクトは沿線展開の第 1 号案件となり、今後の広がりを共に創っていく大きなチャンスがあります。

事業者募集説明会（予定）

- ・ **名称**：川越「泊まれる蔵」プロジェクト事業者募集説明会
- ・ **日時**：2025 年 11 月 4 日（火）18:00～20:00
- ・ **場所**：Resona Kawagoe Base+コワーキングスペース（りそなコエドテラス3階）
埼玉県川越市幸町4-1 りそな コエドテラス3F
＊東武東上線、他各線「川越駅」から東武バスで一番街バス停下車（約10分）、徒歩すぐ
- ・ **形式**：対面＋一部アーカイブ配信
- ・ **内容**：
 - 東武鉄道による背景説明
 - クロストーク（東武鉄道×エンジョイワークス）
 - プロジェクト・共創スキーム説明（エンジョイワークス）
 - 実践者による先行事例トーク
 - The Bath & Bed Dogo（愛媛県松山市）運営事業者：橘洋二さん、橘憲一郎さん
 - 募集要項・支援内容説明、交流・相談会

今後のスケジュール（予定）

- ・ 2025 年 11 月：事業説明・募集イベント開催

- 2025 年 11 月～12 月：事業者選定・マッチング
- 2026 年 1 月～3 月：ファンド組成・募集
- 2026 年春～夏：改修工事
- 2026 年度中：川越「泊まれる蔵」1 棟目開業

参加ご希望の方は、以下のページからお申し込みください

<https://hello-renovation.jp/news/detail/27562>

電通も参画、The Bath & Bed Team とは

日本の伝統的な建造物でありながら、全国各地で遊休不動産として眠っている「蔵」。私たちはその「蔵」を地域の資産と捉え、リノベーションによって一棟貸しの宿泊施設へと再生するプロジェクトを進めています。「The Bath & Bed Team」が手がける宿は、広々としたベッドを備えた快適な“お籠り空間”であると同時に、まち歩きや周辺散策を楽しめる立地に位置し、「まちとつながる」体験型の施設として設計されています。2018 年に神奈川県葉山町で「The Bath & Bed Hayama」を開業して以来、現在 6 棟を展開。将来的には 100 棟の実現を目指しています。

また、株式会社電通と協働しながらブランド展開やプロモーションにも力を入れており、蔵のオーナーや、投資家、事業者・運営者、宿泊客、地域住民などあらゆるステークホルダーを一つのチームに、地域社会の課題解決や地方創生に貢献していきます。

公式宿泊予約サイト：<https://bathandbed.team/>



■エンジョイワークスについて

2007 年に不動産事業者として創業し、不動産・建築・まちづくり・空き家再生などを通じ「みんなで一緒にまちづくり」を実践。湘南で培った参加型手法を全国に広げるため、2017 年に地域活性化クラウドファンディングのプラットフォーム「ハロー！ RENOVATION」を立ち上げ、不動産特定共同事業法を活用し、資金調達や関係人口拡大を推進。こうした取り組みが評価され、2023 年国土交通省「第 1 回地域価値を共創する不動産業アワード」で大賞を受賞しました。

本社所在地：神奈川県鎌倉市由比ガ浜 1-3-1-2 階

代表取締役：福田和則

設立：2007 年 11 月

HP：<https://enjoyworks.jp>

令和 7 年度国土交通省 PPP 協定パートナー

■東武鉄道株式会社について

東武鉄道は、東京、千葉、埼玉、栃木、群馬の1都4県にわたる関東私鉄最長の路線網を持つ鉄道会社であり、沿線には日光、浅草、川越などの有名観光地が数多く点在しております。グループ企業には、自立式電波塔として世界一の高さを誇る「東京スカイツリー」や日本最古のリゾートホテルである「日光金谷ホテル」などがあり、通勤通学的手段としてご利用頂けだけでなく、観光事業を重点戦略の一つに掲げて事業を推進しています。また、2021年から「観光」をテーマに置いたスタートアップとの事業共創プログラム「TOBU Open Innovation Program」を実施しており、観光産業の課題解決や新たな事業の創出を目指した取り組みを進めています。

本社所在地：〒131-8522 東京都墨田区押上一丁目1番2号

代表者：取締役社長 都筑 豊

設立：1897年11月1日

HP：<https://www.tobu.co.jp/>

本件についてのお問い合わせ

株式会社エンjoyワークス 事業企画部 玉井涼太

support@hello-renovation.jp

info@enjoyworks.jp

tel：0467-53-8583

本リリースに関するお問い合わせ

株式会社エンjoyワークス コミュニケーションデザイン部 佐藤朋子

t.sato@enjoyworks.jp